



関本大介選手と給食

交流に試合に大盛り上がり

大日本プロレス in しんとく開催

大日本プロレス in しんとく開催にあたり、小・中学生にもプロレスを知ってもらいたいということでアブドーラ・小林選手、関本大介選手、岡林裕二選手、フランク篤選手の4人が新得小学校・中学校を訪問。小学校では、給食を一緒に食べ、腕相撲を行ったりし、児童の中にはサインをもらいに走り回っている子もいました。中学校では、数学の授業に参加したり、女子生徒をお姫様だっこする場面も見られました。

夜に行われた試合では、小中学生も多く来場し、会場は約340人の観客で満員となりました。試合前に行われたプロレス教室には子ども11人が参加し、関本裕二選手とロープワークを練習。練習後にはシールがプレゼントされました。

試合が開始されると観客は試合に熱中。コールや手拍子を行うなど会場は一体となって盛り上がり、観客は息を呑む緊迫した試合に見入り、ちょっとしたコミカルな試合では笑いも起きていました。



大迫力の蛍光灯デスマッチ



3年生の行灯



OBの行灯

力作の行灯をお披露目

第53回新高祭りあんどんパレード

新得高校（青山和弘校長）の第53回新高祭「3 Shine ～この青春を心に刻め～」が7月9日、10日の両日にわたって行われました。

1日目の夕方には、各学年がこの日のために作ったあんどん行灯3基と新得高校OBが製作した行灯1基の合わせて4基が市街地を練り歩き、アピール会場であるなごみ前駐車場を目指しました。

アピール会場には、大勢の住民や保護者が集まり、到着を心待ちにしていました。会場に着くと生徒やOBらが行灯とちぎり絵のテーマ、力を込めた部分などを紹介し、観客からは拍手や歓声を送られていました。

【各学年のテーマ】

- 1年生（17人）「Plus Ultra ～さらに向こうへ～」
- 2年生（22人）「スクールトリップ（修学旅行）」
- 3年生（26人）「鷹～Higher&Higher～」

話題のアルバム



苦かった！ 大丈夫だった！

新得高校茶道部がなかよしを訪問

新得高校茶道部（松井飛鶴部長、部員5人）の部員3人が7月20日、こどもセンターなかよしでお茶会を開き、1年生～4年生までの約20人が参加しました。

児童らは、茶道部員からお茶の作法などを学んだ後に甘いお菓子を食べて、点ててもらったお茶で一服。作法に苦労しながらも上手にお茶を飲んでおり、「苦い」、「大丈夫」などそれぞれ感想を言っていました。

松井部長は「子ども達に教えるのは初めてなので、緊張したが、なんとかできたから良かった」とホッとした様子。お茶会の後は魚釣りゲームを行い、児童らと交流を深めていました。

トドックが「ありがとう」を伝えた

トドックがそばの館を訪問

コープさっぽろのマスコットキャラクターのトドックが7月22日、そばの館を訪問しました。

コープさっぽろの宅配システム「トドック」が今年10月に10周年を迎えるにあたり、全道の市町村を回って感謝を伝える「トドックスマイルキャラバン for 179」を実施しており、その一環として訪問。本町は73箇所目の訪問となりました。

そばの館では、コープさっぽろの慶伊善紀さんから浜田正利町長に感謝状と記念品が手渡され、そばの館の清水輝男社長と本町のマスコットキャラクターの山グリーンを含めての記念撮影も行われました。



綺麗な音色に聞き入る

第105回新内ホールコンサート

第105回新内ホールコンサートが7月4日、同ホールで行われ、観客約50人が綺麗な音色に聞き入りました。

今回は、「THE サウンド・オブ・フルート～クラシックから現代音楽まで、彩り豊かなフルートの革命！～」と題し、《フルートレボリューション from 札幌》が低音から高音までのフルート属の様々な楽器（ピッコロ、フルートなど）を駆使し、『くるみ割り人形』など10曲を演奏しました。

観客は演奏が始まると静かに聞き入り、新内の自然と演奏の調和を楽しんでいました。

さくらんぼ取れたよ！

新得保育所、新得幼稚園の園児がさくらんぼ収穫

新得保育所と新得幼稚園の園児が7月5日、役場南側に植えられているさくらんぼの収穫に訪れました。

この桜の木は新得町と友好都市の提携をしている東根市から寄贈されたもので、毎年実がなる時期に園児を招いてさくらんぼ狩りを行っています。

雨で実が割れているものもありましたが、綺麗なものを吟味し、さくらんぼを収穫。園児は取ったさくらんぼを自慢し合い、笑顔を見せていました。

また、7月8日には、屈足保育園の園児が屈足支所を訪れ、玄関前のさくらんぼの収穫をしました。



笑顔を見せる新得保育所の園児